

鈴木先生との対談は、昭和44年の暮、松本にお招きを受けて、幼児学園の幼児たちに二日にわたって漢字教育指導をいたしました時、才能教育会館の一室で行はれたものです。才能教育研究会の機関誌（「才能教育」）に発表され、また鈴木先生の全集（「鈴木慎一全集」全七巻双柿社）に収められておりましたものを先生のお許しを得てここに再録させていただきました。

先生は「どの子どもも育つ。育て方一つ」といふことをよくおっしゃいます。そして、「教育の秘訣<sup>ひけつ</sup>は“言葉の教育”の中にある」とおっしゃいます。この簡単な言葉の重みがほんとに解る人は残念ながら少ないやうです。なぜなら、今の世の中が「どの子どもも育つ」といふには程遠い状態にあるからだと思ひます。

私の最も尊敬する先生の一人です。